

令和6年度大谷場中学校だより



おおやば

第6号

令和6年9月30日(月)発行

学校教育目標

「より高く、より広く、より深く、より強く」

さいたま市立大谷場中学校

〒336-0016 さいたま市南区大谷場2-13-54

TEL：048-882-9962 FAX：048-811-1336

WEB：https://oyaba-j@saitama-city.ed.jp/

MAIL：oyaba-j@saitama-city.ed.jp

学校WEBページ
QRコード



「主体的な人に！」

校長 八坂和典

朝、学校へ出勤し、校長室に向かっているとどこからともなく、爽やかに清々しい、歌声が聞こえてきます。3年生の合唱コンクールに向けた朝練習です。3年生にとっては、最後の合唱祭。素晴らしい歌声を奏でられるように主体的に頑張っている姿がとても輝いています。10月17日(木)に、三郷文化市文化会館で行われる合唱祭が楽しみです。1、2年生はさいたま市新人体育大会が今真っ盛り。夏休み等の熱い中、頑張ってきた成果を発揮し、一つでも多くの勝利を目指して頑張りたいと思っています。本校生徒は何事にも全力で頑張っています。

さて、夏休みに東京ディズニーランドやシーを訪れた人もいないでしょうか。東京ディズニーリゾートは、不思議な魅力を持っている場所です。ディズニーリゾートを訪れた人は、みんなが普段の日常を忘れ、夢の非日常を体験することができます。その夢の世界に欠かせないのがキャストの存在です。ディズニーリゾートで大切な役割を果たしているキャストのひとつに、掃除を担当する「カストーディアル」がいます。ディズニーリゾートが最も力を入れているのが、「清潔さ」です。費用も一番かけているそうです。昼間の「カストーディアル」には、各自決められたエリアがあって、もしゴミが落ちていても15分以内に取り除くように教わります。清掃の基準として教わる合言葉が、「赤ちゃんがハイハイしても汚れない」ことだそうです。「カストーディアル」になって最初に教わるのが、「あなたがするのは、掃除ではなく掃除という「ショー」だ。」という事です。

全てのキャストにそのミッションは浸透しています。ですから、キャストは常に「主体的」に動き、ゲストの笑顔を第一に考えています。開園直後の15分間、入園するゲストの笑顔を見るだけの研修があるほどです。その笑顔に応えたい。それが研修後のキャストのモチベーションとなり、全てのゲストに夢と幸せを提供する「主体的」な動きにつながっているといいます。そんな「主体的」な動きがあるからこそ、ディズニーリゾートは、世界中で愛される存在となったのでしょう。「主体的」の類義語に「自主的」という言葉があります。調べてみると、この二つの言葉は、意味はよく似ているものの、違いもあります。「自主的」とは、やるべき事を誰かに言われる前に自らやること。「主体的」とは、自分で状況を判断して目的を明確にし、自らの責任で最も効果的な行動をとること。つまり、「主体的」とは、やるべき事をやるだけにとどまらず、自分で物事を考え、責任ある行動が求められているということです。ディズニーリゾートに見るキャストの姿は、まさにそれだと言えるでしょう。

現行の学習指導要領の目指す姿のひとつとして、「予測困難な時代に、一人ひとりが未来の創り手となるために、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となっていけるようにする。」という考え方があります。子どもたちが人生100年時代を豊かに生きるために、生涯にわたり主体的・能動的に学び続けるようにすることが大切であるということです。私には、その姿がディズニーリゾートでのキャストの仕事ぶりと重なります。

学校には生徒の皆さんが活躍できる場所がたくさん用意されています。その一つ一つにどう挑戦していくか、ディズニーリゾートのキャストのように一人ひとりが考え、主体的に取り組んでくれることを期待しています。